



**地名**や人名には変わった読み方をするものがある。昔、相撲とりに『い』関という関取がいた。いろはの最初、頭だから『い』関と読んだ。これほど極端ではないにしろ天ノ川もおもしろい。私たちは子どもの頃より慣れ親しんでいるので何の違和感もなく読めるが、初めての人は天ノ川、天ノ川と読むのではないかと想像する。天も天の川も空の上にあるので、天ノ川、間違いいではない。その通りです。そんな地区を散策した。

この地区には私たちにとって大切な施設が2つある。1つは人生の節目節目に利用せざるをえない施設で茶毘にふす『窪川斎場』。町内利用がほとんどだがたまに町外の利用もある。もう1つの施設も重要で、私たちが生活する上で大なり小なり出てくるゴミを処理している。ピンとカンは資源として分別され、生ゴミはストーカー方式の炉で焼却されている。その施設の名前、『クリーンセンター銀河』という。天ノ川を天の川とかけての命名なのです。

この天ノ川地区、端から端まで約4キロある。しかも四万十川に沿って『C』の字のように円を描いている。上流にある最初の民家と下流のク



友掛けの好ポイント「不動」

リンセンターは、背中合わせになっている。

まずは氏神様にお参りをしてからお宮に行ったが表札がかかっていない。「はて？」と思いつつながら民家の玄関を見たと『音無神社』と書かれた関札がかかっていた。地元の人に聞いてみると「鳴無神社」が本来の字ではないかとのこと。「お神祭は静かにやるの?」「そんな事はない、小皿たいたいでんちゃん騒ぎよ」酒宴になるとどことも同じで一端、神様には隅の方へ行つてもらつて生きた人間が神様になるようです。それにしても氏神様まで読み方がおもしろい地区である。

音無しよりも水無しが深刻とのこと。農業用水が不足がみ。昔は溜池が4つあったが今は3つ。その溜池、干上がらないとも限らない。そんなまさかの時のため大川からの水を上げるポンプを装備している。

天ノ川、銀河、川面からくるこぢよいい風、夏と七夕が似合う集落。

「天ノ川にも織姫と彦星の候補はいる。けんどなかなか妻帯しないわよ」おじさん、慌てることはないと思います。あと取りがいている地区、うらやましい限りです。



「銀河」に行きかうトラックを見守るサボテン

### 町の人口

(男性)	9,466人
(女性)	10,573人
(計)	20,039人
(世帯数)	8,814世帯

### 平均年齢

(男性)	49.3歳
(女性)	54.2歳
(全体)	51.9歳

### 四万十川流域の水質状況

項目	単位	基準値	5月12日
水温	℃	-	24.7
pH		6.5~8.5	8.2
BOD	mg/l	1.0以下	<0.5
SS	mg/l	25以下	2
DO	mg/l	7.5以上	10.1
大腸菌群数	MPN/100ml	50以下	1100

注意1)測定値は全て速報値です。注意2)基準値は年平均値を対象とした数値です。(国土交通省中村河川国道事務所提供)

●四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)